

絆

きずな
(第33号)

創刊 平成22年4月15日発行

東関東生コン協同組合
〒120-0036
東京都足立区千住仲町19番8号太陽生命ビル
電話番号(03)3879-5141
発行責任者 戸島 伸一

～ 協組スケジュール ～

- 4月18日(水) 執行部会・常任理事会
- 4月25日(水) 執行部会・常任理事会
技術幹事会
- 5月9日(水) 執行部会・常任理事会
理事会
- 5月10日(木) 営業全体会議
- 5月16日(水) 執行部会・常任理事会
技術常任部会
- 5月23日(水) 執行部会・常任理事会
通常総会・理事会
- 5月30日(水) 執行部会・常任理事会
- 6月6日(水) 執行部会・常任理事会
- 6月13日(水) 執行部会・常任理事会
品質監査部会・技術部会
- 6月14日(木) 営業全体会議
- 6月20日(水) 執行部会・常任理事会
- 6月27日(水) 執行部会・常任理事会
理事会

【お詫び】

紙面都合上、《広報紙委員長のつぶやきコラム》は休載致しました。

平成30年度スタート

平成30年1月10日に133名の皆様方にご参加頂いた、新年賀詞交歓会が開催されてから、3ヶ月が経過しました。

新年賀詞交歓会挨拶で小野理事長が掲げた「適正価格の確保」と「輸送品質の向上」の旗印の下、東関東生コン協同組合は様々な施策に取り組んできました。



あいさつする小野理事長

☆生コン価格改定

平成30年2月1日引合受付分からの生コン価格改定にあたっては、700円/㎡の満額獲得を目指して、協組執行部及び組合員各社が一丸となって取り組んでいます。

☆交通安全・運転手教育への取り組み

研修会の開催や工場長会議での議論など、輸送品質の向上に努めています。

☆数量減への対応

平成29年度は36.4万㎡と前年から18万㎡近い数量が減少するという逆風に見舞われてきました。平成30年度は40万㎡を想定しています。

協組では、あらゆる無駄を省き、コストの見直しを行なう中、「製品品質」や「輸送品質」など守るべきものには費用を投じて、顧客満足の上を目指しています。



第10回

工場長会議開催



去る3月7日に協組会議室において、第10回工場長会議を開催しました。

会議では、大場営業委員長より平成30年度共販事業方針についての報告と、2月から実施している生コンクリート価格改定に伴う市況対策に関する進捗状況説明が行われました。

引続き、高橋技術委員長進行の下、各工場より報告された交通事故事例を元に今後協組が取り組むべき交通安全諸活動について活発な討議を行ないました。

会議の場で提案された事項を平成30年度の交通安全対策に活かしていく所存です。

《技術系》

＝交通安全・運転手教育＝

交通安全・運転手 教育に関する研修会



東関東協組では、「輸送品質の向上」の理事長方針の下、平成29年度から交通安全・運転手教育の充実に力を注いできています。

組合員各工場で起きている問題の解決を協組の立場で支援する事を目的として、ドライバー教育用小冊子の発行や交通安全DVD購入(工場貸出用)等を行なってきました。

運転手を教育する立場の経営者や工場長・輸送担当者を対象とする研修手段として、1月・2月の理事会終了後に研修会を連続開催しました。

研修会では、“事故防止に向けた社内環境の構築方法”や“燃費向上による事故防止”等の実践手法を学びました。

引続き、平成30年度も研修会の開催を予定しています。

KYB 株式会社 熊谷工場 見学会に参加して



2月22日に技術幹事会研修会として埼玉県熊谷市にあるミキサ車架装メーカーのKYB株式会社熊谷工場への見学会が開催され技術委員長、専務理事を含む11名が参加し、北千住からバスで現地へと向かいました。到着後、約1時間に渡り会社沿革、事業内容等に関して説明をいただき、ミキサ車架装以外にも鉄道のダンパ、航空機のアクチュエータ、建物の免震装置等様々な分野に多様な部品供給が行なわれていることに感心しました。

その後工場見学では一枚の鉄板からミキサ車完成に至るまでの製作工程を順序通り拝見させて頂いたのですが、ミキサドラムに関しては完全なる手作りで、どの工程においても熟練した職人技が光り、皆一驚していました。塗装が完了した納車前のミキサ車を見た時、作り手の魂が宿っているかのようだと意見もあった程でした。

南埼コンクリート株式会社 越谷工場

工場長 中川憲一

《 理 事 紹 介 リレー 》

私の生まれ故郷

首都圏コンクリート 株式会社
取締役営業部長 片山 一男



今までの皆さんの文章を拝見すると、それぞれ色々な趣味をお持ちですが、私には趣味と言えるものがないので、生まれ故郷の事を少し紹介したいと思います。私は新潟県長岡市の生まれです。長岡市は新潟県の中央部に位置しています。人間で言えば、へそにあたります。市の中央には日本有数の大河である信濃川が流れ、東には中央山脈へと繋がる東山が有り、北は日本海へと続く平野が広がる山紫水明の地であります。

新潟といえば、戦国時代の武将、上杉謙信が有名ですが、長岡は江戸時代の初期(1618年)に東三河出身の牧野氏(7万4千石)が入封し、以来、明治3年まで250年にわたって藩主として治めてきました。外様大名が多かった越後を譜代大名として中央部において抑える為と思われます。江戸時代後半には幕府の老中や京都所司代に任用され国政にも参加してきました。幕末には、司馬遼太郎の「峠」で有名になった河井継之助が登場します。彼は、郡奉行の時に江戸に遊学し、当時の最新兵器であったガトリング銃を長岡に持ち帰り、兵制を改革して、フランス軍に範を取った近代軍隊を設立しました。1868年に戊辰戦争が起こると、彼は新政府軍と会津藩の平和的な解決の為、小千谷にて新政府軍と会談しますが、拒否されました。その為、奥羽列藩同盟に加わり北越戦争で戦いになりました。兵力で圧倒的に上回る新政府軍に敗れ、長岡の郊外で戦死しました。さて、長岡では「米百俵の精神」が今も大切にされています。これは、戊辰戦争後2万4千石まで減らされた長岡藩は食料不足など疲弊の極みにありました。その様な時、長岡藩の支封の三根山藩から明治3年に戦災見舞として米百俵が寄贈された事に由来します。藩士等は皆この分配を希望しましたが、時の大参事であった小林虎三郎や三島億二郎達は、長岡を発展させる基盤は人材の育成にあたると考えて、これをもととして学校を設立したのです。その後、制度の改革によって教育水準の低下を心配した三島億二郎らは、明治5年11月、新たに洋学校を開校しました。この洋学校が、私の母校である、現在の県立長岡高校の起源であります。「剛健質樸」の学校精神は、この建学の由来に負う所が多いとの事です。

ところで、もう一つ長岡で有名な物に大花火大会があります。花火大会そのものは1879年9月14日と15日の2日間、千手町八幡様の祭りに遊郭関係者がお金を出し合って350発の花火を打ち上げたのが始まりとされています。その後1945年8月1日のアメリカ軍による長岡大空襲の被害者慰霊の為に打ち上げられる花火と一体となり、1951年に、慰霊、復興、恒久平和への願いを込めた「長岡まつり」となりました。日本三大花火大会(大曲、土浦)の一つに数えられ、近年は2日間で100万人以上の観客が集う一大イベントになりました。合計で20,000発打ち上げられる花火は、「ベスピアス大スターメイン」「ワイドスターメイン」「正三尺玉」「米百俵花火(10号早打100連発)」など規模、派手さともに感動モノです。まだ見たこと無い人は、ぜひ時間を作って見に行ってください。



ワイドスターメイン

《ぶらり東関東》

北千住飲食店紹介 (No.6)

北千住

食事とうまい酒

文 (あや)



今回は、前回に続く、隠れ家的な店 文 (あや) にお邪魔させて頂きました。

店に入ると落ち着いた雰囲気、もてなしてくれます。入って右側には東北の銘酒がずらりと並んでいてどれも美味しそうです。メニューはその銘酒に合いそうなつまみが揃っていて、色々悩んでしまいます。ここのお店のランチは親子丼が人気No.1で有名ですが、夜の部もやはり鶏料理がおすすめで比内地鶏焼きはオーダーしてから串に刺して焼くというこだわりの逸品で噛みしめるほど旨味が出てきます。他に千住発祥のブランドネギ「千住葱」を使うなど店主の味へのこだわりが伝わってきます。その他に魚料理なども充実していて、目移りしそうです。

たまには、美味しいつまみと旨い酒で時を忘れ身も心も酔いしれるのも良いのではないのでしょうか！

北千住へお越しの際は、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか！お店の手前に当協組もありますので入る前に、立ち寄って頂けると幸いです。



住 所 足立区千住仲町36-2

東関東生コン協同組合(太陽生命ビル)横のミリオン通り
商店街を入り100m先左側

電 話 03-3881-1334

営業時間 平 日 11:30~14:00 ・ 18:00~24:00

土・日・祝 17:00~23:00

定 休 日 日曜日

第49回 通常総会開催のお知らせ

日時: 平成30年5月23日(水) 15:00から

場所: 東関東生コン協同組合 7F 会議室にて

平成29年度実績及び需要想定

単位(m ³ ・%)				
月	29年度実績	前年実績比	30年度想定	前年実績比
4	34,943.75	79.00	37,000	
5	27,294.55	69.97	34,000	
6	34,131.60	60.29	37,000	
7	29,517.50	45.08	37,000	
8	28,618.20	64.83	34,000	
9	32,617.90	78.15	36,000	
上期計	187,123.50	64.26	215,000	
10	27,054.40	62.78	34,000	
11	31,368.55	68.25	33,000	
12	29,192.15	66.65	32,000	
1	24,603.25	68.51	29,000	
2	27,291.40	67.11	27,000	
3	37,448.85	87.32	30,000	
下期計	176,958.60	70.13	185,000	
年度計	364,082.10	66.98	400,000	

平成30年ゴールデンウィーク

工場休転日について

工場名	曜日	4/28	29	30	5/1	2	3	4	5	6
		土	日	月	火	水	木	金	土	日
アサノコンクリート 浮間工場		○	○	○	○	○	○	○	○	○
内山アドバンス 草加工場			○	○			○	○	○	○
関東コンクリート			○	○	○	○	○	○	○	○
城北小野田レミコン		○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊川興業			○	○			○	○	○	○
南埼玉コンクリート 越谷工場			○	○			○	○	○	○
日立コンクリート 葛飾工場			○	○						
日立コンクリート 戸田橋工場		○	○	○	○	○	○	○	○	○
日立コンクリート 新砂工場			○	○			○	○	○	○
松戸生コン 本社・松戸工場			○	○			○	○	○	○
松戸生コン 常盤工場			○	○			○	○	○	○
柳下生コン			○	○			○	○	○	○
八洲コンクリート			○	○			○	○	○	○
横山産業 川口第一工場			○	○			○	○	○	○
横山産業 大宮工場			○	○			○	○	○	○
植木生コン			○	○			○	○	○	○
首都圏コンクリート			○	○			○	○	○	○
鈴木生コン			○	○			○	○	○	○
西野建材			○	○			○	○	○	○
トウザキ			○	○			○	○	○	○
埼玉アサノ生コン			○	○			○	○	○	○
東京エスオーシー		○	○	○	○	○	○	○	○	○
野田生コン 第一工場			○	○			○	○	○	○
東関東生コン協同組合		○	○	○			○	○	○	○

訃 報

首都圏コンクリート株式会社

故 森 要氏(代表取締役会長)78歳、平成30年1月4日に逝去されました。
お悔やみ申し上げ、心から哀悼の意を表します。

城北小野田レミコン株式会社

故 松下雅文氏(代表取締役社長)57歳、平成30年3月6日に逝去されました。
お悔やみ申し上げ、心から哀悼の意を表します。